



## 間 渕 豊

MABUCHI Yutaka

オリックス不動産

専務執行役員

# まちびらきは 未完成の出発点

WaKu WaKu DoKi DoKi  
WaKu WaKu DoKi DoKi  
WaKu WaKu DoKi DoKi  
WaKu WaKu DoKi DoKi

4月26日、うめきたの先行開発区域「グランフロント大阪」がいよいよまちびらきを迎えます。「目玉は」と聞かれれば「すべて」と答えてしまうほどの充実ぶり。関西・西日本の起爆剤としての可能性は十分にあります。ご期待ください。

特に注目していただきたいのがナレッジキャピタルです。コンセプトは「感性」と「技術」の融合により「新たな価値」を創出する知的創造拠点。さまざまな機能を持つ複合施設としてその姿を現しつつありますが、この“概念を形にする”という仕事はやはり難しかったですね。異質なものが集まってこそ新しいものが生まれるとの考えのもと、交通至便なうめきたという地の利を最大限に生かし、老若男女・多様な人びと、企業そして研究機関などが集える開かれた場、コラボレーションしやすい環境をめざして施設づくりを行ってきました。そのうちのいくつかを少しご紹介しましょう。

「フューチャーライフショールーム」は、企業や大学等21のテナントが参画する半歩先（一步先だと進みすぎなので）の未来が体験できるショールーム。お客さまの感想や意見が新しいサービスや製品の開発に結びつく展開、そしてテナント間のコラボレーションに期待しています。「The Lab. みんなで世界一研究所」は、通常、企業や研究機関の研究室で一般の人の目に触れることなく開発が進められる最先端の技術や製品を親しみやすく紹介するエリア。ここで、研究者の開発意図をお客さまに伝えたり、お客さまの意見や要望を研究者にフィードバックしたり、企業同士を結びつけたりと、重要な役割を果たすのがコミュニケーターです。彼らの働きがナレッジキャピタルの成否を大きく左右しますから、コミュニケーション能力の高い人材を集め、しっかりとトレーニングしていく予定です。

あともう一つご紹介したいのが会員制の「ナレッジサロン」

です。ビジネスパーソン、研究者、アーティストなど幅広い層の方にすでに会員になっていただいています。サロンに集まる会員が分野を超えてコラボレーションし、新たなものを生み出す流れをつくっていきたくて考えていますので、関経連の会員の皆さまにもぜひサロン会員になっていただきたいですね。サロン開業に向けたプレ活動として、幅広い業種・業界からゲストスピーカーを招いて開催している「木曜サロン」でも参加者がコラボレートする動きが出てきていますので、大いに期待しています。

たとえ小さくてもいい、何か成果が出ることをわれわれは今から待ち望んでいます。サロンで知り合った人たちが会社をつくり、「コラボオフィス」に入る。その会社がやがて上場を果たし、グランフロント大阪のオフィスに入る。そんなサクセスストーリーがまた新しい人びとを引きつける。そういった循環が出てくるとうれしいですね。そしてナレッジキャピタルでの成果を関西各地でさらに大きく育て、関西経済の発展に役立てていただければと思います。うめきたが関西イノベーション国際戦略総合特区のハブと言われる理由もそこにあるのではないのでしょうか。

「まちびらきは未完成の出発点」ナレッジキャピタルについて私がよく言う言葉です。まちびらきの時に皆さんが目にするナレッジキャピタルは決して完成形ではありません。実は未来永劫、完成することはないんです。常に変わり、常に未完成だからこそ「ワクワク・ドキドキ」する、新しいものが生まれる—これこそわれわれが求めるナレッジキャピタルです。ぜひ何度も足を運び、毎回新しい「ワクワク・ドキドキ」を感じてください。（談）